

雪氷写真館 7



写真 1. トンネルより見た三国の山々 / 写真 2. ガードレールに架かる積雪荷重の調査



写真 3. 群杭 / 写真 4. 雪崩パトロール車

写真版・国道 17 号雪対策余話(1)

国道 17 号の積雪は、群馬県境に近い新潟県南魚沼郡湯沢町にある湯沢維持出張所管内では特に多い。山岳道路であるため雪崩も各所に発生していることから、雪崩調査は上越国道工事事務所開設当初の昭和 34 年ごろより始められた。36 年には雪崩対策施設の各種試作が行われ、冬季交通確保のための構造物の実験がおこなわれている。

本誌連載の国道 17 号雪対策余話も終わりに近いので、余話の中で使用した写真の一部を「雪氷写真館」に掲載していただくことにした。

写真の補足説明は以下のとおり。

- 写真 1. 二居トンネル内から見える冬の三国の尾根に発達している雪庇。国道 17 号はこの山裾を走っている。昭和 37 年頃の雪崩調査。(新潟県南魚沼郡湯沢町二居)
- 写真 2. 積雪地方では雪荷重の沈降力によって、防護柵(ガ

ードレール)に沈下・変形・破損が生ずることから、防護柵に加わる荷重の調査を実施している。写真はその積雪断面である。積雪は柵の上部で褶曲している。(湯沢町萱付)

- 写真 3. 国道 112 号で施工された雪崩発生予防の群杭(抑止杭)。(山形県西村山郡西川町志津)
- 写真 4. 国道 17 号では降積雪が多くなり、除雪によって路肩の雪堤が高くなると道路上から雪崩発生区域を観測することが困難となる。このため写真に見られるような雪崩パトロールカーがドイツより輸入され、雪崩パトロールに活躍している。(湯沢町七谷切)

阿部 勉 会員((株)イヌツカ) 撮影